

必ずお読みください！

FC-W118RD 取扱説明書 補足説明

◆AM 放送受信について

日本の AM ラジオは 2028 年を目標に段階的に廃止され、FM（ワイド FM）やインターネット配信への移行が進められています。

●廃止の背景

AM ラジオ放送の設備は老朽化が進み、修理等の維持管理費が高額であることと、利用率が低下しているため、廃止、FM 転換が検討されています。

●現在の状況

一部地域ではすでに AM 放送が聞こえなくなっており、雑音が多い場合は中継局が停波している可能性があります。総務省の特例措置により、AM 局ごとに休止時期や期間は異なり、各放送局の公式情報で確認する必要があります。

●段階的廃止スケジュール

第 1 期（2024 年度）：13 社 34 中継局が対象で、2024 年 2 月から順次 AM 放送を休止。

第 2 期（2025 年度）：追加の AM 局が対象となり、2025 年 12 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日までの間に順次休止が行われる予定。

最終目標（2028 年秋）：国内の民間 AM ラジオ事業者の多くが AM 放送を原則終了し、FM（ワイド FM）やインターネット配信に一本化される予定。

●移行先と対策

ワイド FM：76.1 ～ 98.9MHz の周波数で FM 放送を受信可能なラジオ機器が必要です。（※本製品はワイド FM 対応です。）

インターネットラジオ（radiko など）：AM/FM の区別なく番組を聴取可能で、スマートフォンや PC から利用できます。

（※本製品は対応していません。）

◆P.11 充電ハンドルを回す

内蔵電池が完全に放電し、本機が起動できない状態では、規定の発電条件で発電した場合でも充電容量が得られない、または本機が起動しない場合があります。
電池残量表示 1 目盛以上で回してください。

◆P.13 AC アダプターやパソコンで充電する

オプションの AC アダプター（FC-AC01）での充電時間は約 4 時間です。市販の AC アダプターを使用する場合は（出力：DC5V/1A 以上）を使用してください。
※パソコンなどの USB ポートから充電する場合は、充電時間が長くなります。

◆P.14 太陽光で充電する

内蔵電池が完全に放電し、本機が起動できない状態では、規定の発電条件で発電した場合でも充電容量が得られない、または本機が起動しない場合があります。
電池残量表示 1 目盛以上で太陽光充電してください。

◆P.21 使用時間の目安について

通常使用時の使用時間は本文通りですが、手回し発電とソーラー発電の記述を補足します。

●通常使用時

電源	使用時間の目安
内蔵電池（満充電時）	ラジオ（FM 受信・イヤホン 使用・音量最大）約 55 時間
新品単 3 形アルカリ乾電池 3 本使用時	ラジオ（FM 受信・イヤホン 使用・音量最大）約 48 時間

●緊急時の発電機能(参考値)

発電方法	発電条件	ラジオ受信時間の目安※1
手回し発電	ハンドルを約 120 回/分の速度で 3 分間回した場合	約 20 分
ソーラー発電	晴天時の直射日光(※2)で約 3 時間充電した場合	約 120 分

〈ご注意〉

手回し発電およびソーラー発電は、災害時や停電時などの緊急時に使用するための補助電源機能です。日常のご使用では、内蔵電池を AC アダプターで充電するか、新品の単 3 形アルカリ乾電池をご使用ください。

※1 上記の「ラジオ受信時間の目安」は、本機が正常に起動できるだけの十分な内蔵電池残量がある状態（電池残量表示 1 目盛以上）において、本体の電源を OFF にした状態で規定の発電条件で発電した後、FM 受信・イヤホン使用・音量最大で連続受信した場合の発電により得られる受信時間の参考値です。

内蔵電池に残量がある場合は、その残量に応じて実際の受信時間は上記より長くなります。

内蔵電池が完全に放電し、本機が起動できない状態では、規定の発電条件で発電した場合でも、上記の受信時間が得られない、または本機が起動しない場合があります。

※2 「晴天時の直射日光」とは、照度約 40,000lx 以上（快晴の日中を目安）で、太陽光がソーラーパネルにほぼ垂直に当たる環境を指します。

手回し発電およびソーラー発電による発電量は、天候、季節、照度、ソーラーパネルの向き、手回し速度、周囲温度などの条件により大きく変動します。規定条件を満たさない場合は、受信時間が大幅に短くなることがあります。

記載の数値は当社測定条件による参考値であり、使用環境や内蔵電池の状態、経年劣化などにより異なります。実際の使用時間を保証するものではありません。